

旧石器時代(先土器時代)

数万年前

大陸と陸続きの時代…氷河期

【 野尻湖 】遺跡（長野県）

…大陸にしかない【 ナウマン 】ゾウの化石が発見される
その他の動物…マンモスやオオツノジカ

人々の生活…移住生活

【 打製 】石器（旧石器）の使用

【 岩宿 】遺跡（群馬県）

…【 相沢忠洋 】が発見。関東ローム層の赤土の中から、
【 黒曜石 】でできたナイフ型石器が出土した

縄文時代

約1万年前～

紀元前5世紀頃

人々の生活

縄文土器の使用（縄目の文様、黒かっ色、厚くてもろい）

土器の使用で、食物の煮たきが可能になる

→どんなことが考えられる？

- ・食事の種類が増える
- ・寿命が延びる…当時の平均寿命は10代前半！

【 磨製 】石器

【 骨角 】器（釣り針などに使用）・弓矢や落とし穴

…狩りや漁、採集による生活

【 竪穴 】住居…小高いところや水辺に定住するようになる

【 土偶 】…魔よけや安産・豊作を祈ってつくられたもの

【 貝塚 】…当時のゴミ捨て場

出土品から当時の食生活や道具がわかる

【 大森貝塚 】（東京都）…明治時代に【 モース 】が発見

⇒現在とは海岸線が異なることがわかる。

【 三内丸山 】遺跡（青森県）

…それまでの縄文時代のイメージをくつがえす発見！

移住→【 定住 】、【 交易 】（物々交換）

弥生時代

紀元前 4 世紀頃

～

紀元後 3 世紀頃

稲作の伝来…日本の歴史を変えた!!

【 登呂 】遺跡（静岡県）…大規模な水田の跡

稲作の道具

- ・【 石包丁 】…稲の穂をつみとる
- ・【 田げた 】…水田の中を歩く
- ・【 高床倉庫 】…収穫した稲をたくわえておく
【 湿気 】やねずみを防ぐ工夫あり

その他の道具

弥生土器の使用（赤かっ色、うすくてかたい）

金属器 { 鉄器……武器・農具・工具として。
青銅器…祭器として（銅劍、銅銚、【 銅鐸 】など）。

稲作がさかんになる→収穫量の違いから【 貧富 】の差が生まれる
→稲作に適した【 土地 】や水をめぐって
争いが起きる→【 身分 】の差が生まれる

【 環濠集落 】の出現…ほりで囲まれた集落

【 吉野ヶ里 】遺跡（佐賀県）…大規模な環濠集落の跡

- ・ほり…敵が攻めてくるのを防ぐ
- ・物見やぐら…敵が攻めてこないかどうか見張る

中国との関係（日本に文字はまだない）

紀元前 1 世紀頃

◆「【 『 漢書 』 地理志 】」…日本が初めて中国の歴史書に登場
日本＝【 倭 】とよばれる
100 余りの小国に分かれている

1 世紀頃

◆「【 『 後漢書 』 東夷伝 】」
倭の【 奴 】国の使いに対して、皇帝が【 金印 】を授ける
「【 漢委奴国王 】」という文字
…江戸時代に【 志賀島 】（福岡県）で発見される

3 世紀頃

◆「【 『 魏志 』 倭人伝 】」…【 邪馬台 】国の記述
・女王【 卑弥呼 】がまじないや占いによる政治をおこなう
・30 余りの小国を従える
・魏に使いを送り「【 親魏倭王 】」の称号を授かる

古墳時代

3～4世紀頃

大和政権の成立

大和政権…【 大王 】(後の天皇)を中心とした連合政権
近畿地方を中心に勢力をもつ

- ・【 氏姓 】制度…豪族の一族を【 氏 】とし、^{おみ}臣・^{むらじ}連などの【 姓 】
を与える。蘇我氏・物部氏など

古墳…大王や豪族の墓・近畿地方が中心

- ・【 大山(大仙) 】古墳(大阪府堺市)…【 仁徳 】天皇の墓とされる
形は【 前方後円 】墳
世界最大級の古墳

- ・【 稲荷山 】古墳(埼玉県)
- ・江田船山古墳(熊本県)
…^{フカ タケル}獲加多支鹵大王 = 【 雄略 】天皇、倭王武
…大和政権の支配が九州から関東北部まで及んでいたことを示す
- ・^{ごしきづか}五色塚古墳(兵庫県神戸市)…当時の状態を復元・形は前方後円墳

副葬品…死者とともに古墳に埋葬されるもの。武具や^{まがたま}勾玉・鏡など
【 埴輪 】…古墳の周りや頂上に置かれた素焼きの土器
→当時の生活の様子がわかる

4世紀中頃

朝鮮半島との外交

^{から}加羅(伽耶・^{かや}任那^{みまな})との結びつきを強める…すぐれた技術や鉄を求めて

4世紀後半

- ・【 百濟 】と手を結び、【 ☆ 高句麗^{しらぎ} 】や新羅と戦う
…【 ☆ 】の^{こうたいおう}好太王碑に刻まれた文章に記されている

技術・文化の伝来

【 渡来人 】によって伝えられる…おもに【 百濟 】から

5世紀

- ・漢字
- ・【 儒教 】…中国の【 孔子 】の教え

6世紀

- ・【 仏教 】…インドの【 シャカ 】の教え
- その他、^{ようさん}養蚕・^{はた}機織り・^{すえ}製鉄・須恵器(かたくて丈夫な土器)など

562年

加羅が新羅によって滅ぼされる

飛鳥時代

聖徳太子の政治…天皇中心の政治を目指す⇒【 中央集権 】国家

593年

おばである【 推古 】天皇の【 摂政 】となる

天皇が幼少・病気・女性であるときに置かれる

豪族【 蘇我馬子 】と協力

603年

【 冠位十二階 】

…家柄にとらわれず、能力に応じて位を与える⇔【 氏姓制度 】

604年

【 憲法十七条(十七条の憲法) 】

…【 豪族 】に対して役人としての心がまえを示す

607年

【 遣隋使 】

【 小野妹子 】らを隋に派遣…隋との対等な国交をめざす

皇帝への国書

「日出づる^{ところ}処の天子、書を日没^{ぼつ}する処の天子に致^{いた}す、恙^{つつがな}無きや……」

(日が昇る国の天皇が、日が沈む国の皇帝に手紙を差し上げます。ご機嫌はいかがですか?)

【 飛鳥 】文化…日本最初の【 仏教 】文化

【 法隆寺 】の建立…現存する世界最古の木造建築

→1993年、【 世界文化遺産 】に指定される

・五重塔

・釈迦三尊像

→聖徳太子の死後、蘇我蝦夷^{えみし}・入鹿^{いるか}父子が権力を握る→皇族の不満

618年

ちなみに中国では…

【 隋 】が滅亡→【 唐 】が中国を統一

630年

【 遣唐使 】

【 犬上御田鍬 】らを唐に派遣

留学生・僧らを約250年にわたって派遣しつづける

【 大化 の 改新 】 大化…日本最初の【 元号 】

645年 【 中大兄皇子 】と【 中臣鎌足 】によるクーデター
…【 蘇我入鹿 】を暗殺→【 蘇我 】氏の滅亡

646年 改新の^{みことのり}詔

【 唐 】の【 律令 】制度にならった政治方針

【 公地公民 】…土地と人民は国家のものとする
班田収授（の）法 …戸籍に基づいて【 口分田 】（土地）を
人民に与え、死ぬと国に返させる

税の制度…租・庸・調 ※奈良時代でくわしく扱います。

→実現するまでには数十年かかった

660年 【 百済 】が新羅に滅ぼされる⇒日本に助けを求める

663年 【 白村江 】の戦い…朝鮮半島への出兵

↓ 【 唐 】・新羅の連合軍に大敗

九州の防備の強化…【 大宰府 】の整備、【 防人 】の派遣

大津京へ遷都（都を移すこと）⇒【☆ 天智 】天皇として即位
日本最古の戸籍の作成

672年 【 壬申 】の乱…【☆】天皇の死後の後継者争い
子の【 大友皇子 】vs 弟の【 大海人皇子 】

勝利して【★ 天武 】天皇となる

【 富本銭 】…日本最古の貨幣

689年 【★】天皇の死後、妻である【 持統 】天皇が即位

694年 【 藤原 】京に遷都…唐にならってつくられた本格的な都

白鳳文化…唐の影響を強く受けた仏教文化

・【 薬師寺 】

…【 天武 】天皇が、後に【 持統 】天皇になる妻の病氣回復を祈
願して建立

・【 高松塚 】古墳…極彩色の壁画が当時の状態に復元・公開された

奈良時代

701年

【 大宝律令 】の制定…【 唐 】の律令を手本に
刑部親王・【 藤原不比等 】ら

政治のしくみ

中央…二官八省

神祇官（神をまつ祀る）
太政官（政治を行う）

大蔵省・宮内省・式部省・中務省
治部省・民部省・兵部省・刑部省

地方…国・郡・里

国——【 国司 】（中央から派遣）
郡——【 郡司 】（その地方の豪族）
里——【 里長 】（その地方の有力な農民）

【 大宰府 】…九州の政治・外交・防衛

土地制度と税のしくみ

【 公地公民 】…土地と人民は国家のものとする

【 班田収授 】法…

戸籍に基づいて6歳以上の男女に土地（＝【 口分田 】）を与える
（ただし女子は男子の3分の2）

【 租 】…収穫の約【 3 】%の稲を地方の役所に納める

【 庸 】…都で10日間の労働、または布を納める

【 調 】…地方の特産物を国に納める→【 木簡 】に記録が残る

ぞうよう雑徭…国司のもとで1年間に60日間の労働

えじ衛士…1年間、都の警備

【 防人 】…3年間、九州の警備

奈良の都

710年

【 平城京 】へせん遷都…【 元明 】天皇

唐の都【 長安 】にならって建設

ひんきゅうもんどうか『貧窮問答歌』【 山上憶良 】…『万葉集』より

- 【 聖武 】天皇の政治…伝染病や飢饉^{ききん}、朝廷内の勢力争いなどの社会不安
- 743年 【 国分寺 】・国分尼寺の建設…総国分寺として【 東大寺 】
 【 大仏 】造立の詔…農民の負担増加→僧【 行基 】の協力
- 【 天平 】文化…唐の影響を受けた仏教文化
 【 正倉院 】…東大寺にある、聖武天皇の遺品を収納した宝物庫
 西アジア・ヨーロッパから【 シルクロード 】を経て日本へ伝わった文物
- 752年 【 鑑真 】…6度の渡航、失明を経て来日
 【 唐招提寺 】の建立
- 723年 土地政策…重税に耐えかねて口分田を捨てる農民が増え、土地が荒れる
 【 三世一身 】法…開墾した土地は三代まで私有を認める
- 743年 【 墾田永年私財 】法…開墾した土地は永久に私有を認める
 →【 荘園 】の発生→【 公地公民 】制の崩壊
- 遣唐使…630年に【 犬上御田鍬 】が派遣されてから十数回続く
 危険な航海とひきかえに唐の進んだ文化や制度が伝えられる
 【 阿倍仲麻呂 】…唐へ留学、皇帝に仕え、唐で一生を送る
 「天の原 振りさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも」
- 894年 【 菅原道真 】の進言により停止 ※平安時代で詳しく扱います。

聖武天皇の死後

仏教勢力が強まる→【 道鏡 】のように政治に口出しをする僧の出現
 律令制度・公地公民制の崩壊
 苦しい農民の生活→逃亡・偽籍

奈良時代の書物

- ・『【 万葉集 】』…日本最古の歌集
- ・『【 古事記 】』…日本最古の歴史書であり、神話なども含まれる
- ・『【 日本書紀 】』…神代～持統天皇の時代までを扱う歴史書
- ・『風土記』…国ごとの産物や各地の地名の由来など

平安時代

I 【桓武】天皇の政治…【律令】政治の建て直し
784年 長岡京に遷都

794年 【平安京】に遷都 …現在の【京都】市
以後、約1100年間、日本の都となった

東北地方の制圧…蝦夷^{えみし}の制圧

【坂上田村麻呂】を【征夷大將軍】に任命

仏教界の改革 奈良の寺院や僧の力をおさえる

【最澄】…【天台】宗 比叡山^{ひえい}【延暦】寺(滋賀県大津市)

【空海】…【真言】宗 高野山【金剛峯】寺(和歌山県高野町)

II 貴族の政治=【摂関】政治

地方の豪族などが有力な貴族や寺社に荘園を寄進

貴族の特権 【不輸】の権(税を納めなくても良い権利)

【不入】の権(荘園内への国司の立ち入りを断る権利)

9世紀中頃

藤原氏の権勢

摂関政治…【摂政】や【関白】の地位について実権を握る

藤原氏が朝廷で力を持った理由は？

- ・【中臣鎌足】の子孫は奈良時代から朝廷内で有力な地位にあった
- ・多くの【荘園】を寄進させ、たくさんの利益があった。
- ・自分の娘を【天皇】のきさきにし、外戚^{せき}として発言力を強めた。

894年

【菅原道真】が遣唐使停止を提言 朝廷での重要な役職を歴任するも…
藤原氏との勢力争いに敗れて【大宰府】へ左遷

11世紀前半

藤原氏の最盛期

【★藤原道長】・【☆藤原頼通】父子

「この世をば 我が世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば」(★)
(まるでこの世の全てが私のものになったようだ。満月に欠けたところがないように、
今の私に足りないものは何もない！)

宇治の【平等院鳳凰堂】(☆)

武士の台頭

政治・治安の乱れ→荘園などを守る役目の武士が登場

→有力な一族を中心とした【 武士団 】へと成長

935年 【 平将門 】の乱…下総国（千葉・茨城県の一部）の豪族
自ら【 新皇 】と名乗り、関東地方を支配

939年 【 藤原純友 】の乱…伊予国（愛媛県）の役人
海賊を率いて瀬戸内海を荒らしまわる

東北地方

1051年～

【 前九年 】の役

1083年～

【 後三年 】の役

↓

【 奥州藤原 】氏の繁栄

【 源義家 】が鎮圧

→源氏は東国で勢力を強める

平氏は西国で勢力を強める

Ⅲ 院政

11世紀後半

藤原氏出身の子ではない後三条天皇が即位→藤原氏の勢力がおとろえる

1086年

【 白河 】天皇が退位して【 上皇 】となっても政治に携わる
→【 院政 】の開始…天皇と上皇との対立が生まれる

1156年

【 保元 】の乱…後白河天皇と崇徳上皇の対立

藤原氏・源氏・平氏の一族内での争いも加わる

天皇側の勝利 【 平清盛 】・【 源義朝 】の協力

1159年

【 平治 】の乱…平清盛と源義朝の対立

【 平清盛 】の勝利

源義朝の子【 源頼朝 】は伊豆へ流される

<白河上皇の天下三大不如意（思い通りにならないもの）>

かも
・鴨川の水
すごろく さい
・双六の賽（サイコロの目）
・【 僧兵 】

IV 平氏の政治 …「平氏でない者は人ではない」

平清盛が武士として初めて【太政大臣】に…政治の実権を握る

- ・娘を天皇のきさきとして朝廷の重要な役職を一族で独占
 - ・多くの荘園を持つ
- } 何かに似ていませんか？

【日宋】貿易…【宋】(中国)との貿易

【大輪田泊】(現在の神戸港の一部)を整備。

- 輸入品…【宋銭】・陶磁器・絹織物
- 輸出品…硫黄・刀剣

【厳島神社】の信仰…航海の守護神

源平の争乱～平氏滅亡

平氏の繁栄←朝廷・貴族・他の武士からの反感…平氏打倒の動き

1180年

【源頼朝】が伊豆で挙兵 →【鎌倉】を拠点

妻・【北条政子】の一族の力を借り、関東の支配を強める

1185年

【壇ノ浦】の戦い(山口県【下関】市)

弟・【源義経】の活躍→平氏滅亡

国ごとに【守護】・荘園ごとに【地頭】を設置

平安時代の文化

【国風】文化…日本独自の文化

894年

遣唐使の停止…【菅原道真】の進言

唐がおとろえたため、多くの費用をかけ危険な航海をしてまで唐から学ぶ必要がなくなった→日本独自の文化が生まれる

文学

【かな文字】…漢字をもとに作られ、より豊かな感情表現が可能に

・『古今和歌集』…【紀貫之】(『土佐日記』の作者でもある)が編纂

・『竹取物語』…作者不詳・日本最古の物語と言われる

・『枕草子』(随筆)…【清少納言】

・『源氏物語』(物語)…【紫式部】モデルは藤原道長？

絵画

【大和】絵…物語と結びつき絵巻物となる(『源氏物語絵巻』など)

思想

【浄土】教(浄土思想)…阿弥陀仏を信じることで、死後、極楽浄土に行くことができるという考え。

建築…浄土教にもとづく阿弥陀堂

【平等院鳳凰堂】(京都府宇治市)…【藤原頼通】が建立

【中尊寺金色堂】(岩手県平泉町)…【奥州藤原氏】の繁栄

住居…【寝殿造】

女性の服装…【十二単】

鎌倉時代

鎌倉幕府の成立

1185年

【 壇ノ浦 】の戦い…【 平 】氏が滅亡する



【 源頼朝 】と、弟【 源義経 】が対立

【 守護 】と【 地頭 】を全国に設置

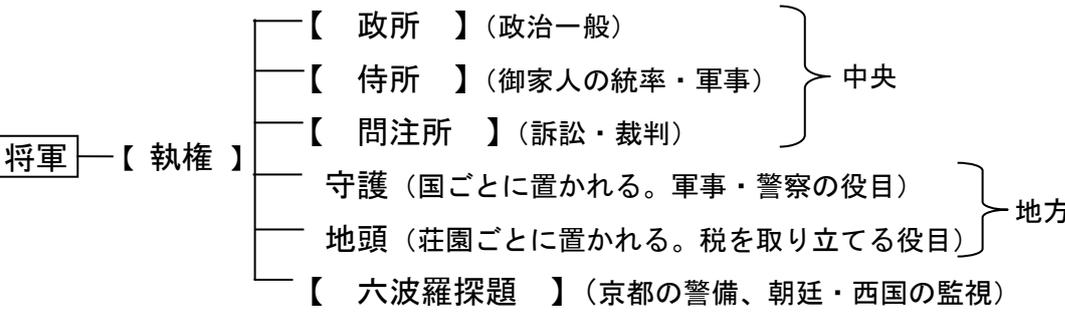
【 国 】ごと	【 荘園 】ごと
軍事・警察	税の取り立て

1192年

源頼朝 【 征夷大將軍 】に任命される→鎌倉幕府の成立

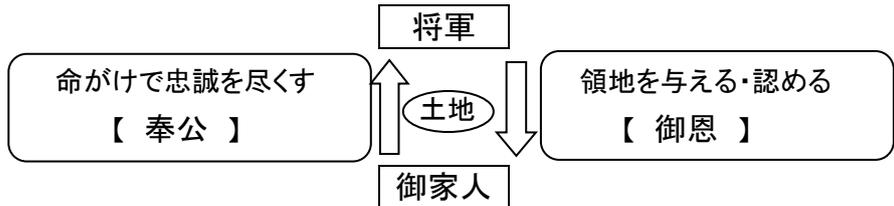
鎌倉…三方を山に、一方を海に囲まれ、守りやすく攻めにくい地形

鎌倉幕府のしくみ



※承久の乱の後に設置された。

封建制度…土地を仲立ちとした主人(将軍)と家来(武士=【 御家人 】)の関係



「一所懸命」→「一生懸命」

武士の生活

戦のないときは農業や武芸の稽古に励む

住居…簡素で実用的・堀や塀で囲まれており、敵の襲来に備えるつくり

流鏝馬 (やぶさめ)

笠懸 (かさがけ)

犬追物 (いぬおうもの)

女性の地位…男性とほぼ対等 女性で地頭になる人も！

【 執権 】政治

3代将軍【 源実朝 】が甥に暗殺される→源氏の将軍が絶える
幕府の実権は、執権である【 北条 】氏へ

1221年

【 承久 】の乱…2代執権【 北条義時 】
【 後鳥羽上皇 】が政治の実権を朝廷に取り戻そうとして挙兵
【 北条政子 】(尼将軍)の演説→御家人の団結を促す



朝廷側の敗北…後鳥羽上皇は隠岐(島根県)へ流される
→幕府の支配体制が強まる
京都に【 六波羅探題 】を設置 朝廷・西国の監視

1232年

【 御成敗式目(貞永式目) 】の制定…3代執権【 北条泰時 】
武士による初めての法令→後の時代にも影響を与えた
頼朝以来の先例や武家社会の慣習を明文化した51か条

13世紀初め

元寇(蒙古襲来)…8代執権【 北条時宗 】
【 チンギス=ハン 】がモンゴル帝国を建国
孫の【 ☆ フビライ=ハン 】が国号を【 元 】と改め、王朝を立てる
【 ☆ 】に仕えたイタリアの商人【 マルコ=ポーロ 】による『東方見聞録』
日本が「黄金の国ジパング」と紹介される

1274年

①【 文永 】の役…【 ^{こうらい}高麗 】の兵を従えた元軍が【 博多 】湾に襲来
日本軍=一騎打ち 元軍=集団戦法 } 苦戦
元軍の兵器【 てつほう 】

1281年

②【 弘安 】の役…暴風雨により元軍は退却
①・②を合わせて【 元寇 】という

元寇の影響

元寇は自衛戦争だったため、新しい土地を得たわけではない



御家人に十分なほうびを与えられない→御家人の生活が困窮・不満が高まる

1297年

永仁の【 徳政令 】…御家人の借金帳消し→経済が混乱



幕府の支配力がおとろえていく

1333年

鎌倉幕府の滅亡

【 後醍醐 】天皇の呼びかけによる
【 足利尊氏 】が六波羅探題を、【 新田義貞 】が鎌倉を攻め落とす

鎌倉時代の文化と社会

鎌倉文化…武士の気風に合った力強い文化

<新しい仏教> 民衆にもわかりやすい仏教へ

- ・浄土宗…【 法然 】 「南無阿弥陀仏」(念仏)
 - ・【 浄土真 】宗…親鸞 「一向宗」ともいう
 - ・【 時 】宗…一遍 踊り念仏
 - ・【 日蓮 】宗 「法華宗」ともいう 「南無妙法蓮華経」(題目)
 - ・曹洞宗…【 道元 】
 - ・臨済宗…【 栄西 】
- 禅宗 座禅を組むことによって精神を鍛錬

<美術・建築>

- ・東大寺南大門
- ・円覚寺舍利殿
- ・東大寺南大門の【 金剛力士 】像…【 運慶 】・【 快慶 】

<文学>

- ・『新古今和歌集』…藤原定家が編纂^{さん}
- ・『【 平家物語 】』…【 琵琶法師 】によって語り伝えられた
【 軍記 】物
- ・『【 徒然草 】』…吉田兼好 日本三大随筆のひとつ

農民の生活

農業の発達…草木灰(肥料)、牛馬耕

【 二毛作 】の開始(西日本)

地頭と荘園領主による二重支配⇒税も二重!

「泣く子と地頭には勝てぬ」

定期市…月【 3 】回

【 宋 】銭の使用

【 座 】…同業者の組合

【 問丸 】…年貢の保管・運送をおこなう業者

室町時代(1)

1334年

【 建武 】の新政…【 後醍醐 】天皇が天皇中心の政治をめざす
公家や寺社が重んじられる・鎌倉幕府を倒した恩賞も公家に多く与えられる



武士の不満が高まる

【 足利尊氏 】が武家政治の復活をめざして挙兵

南北朝時代

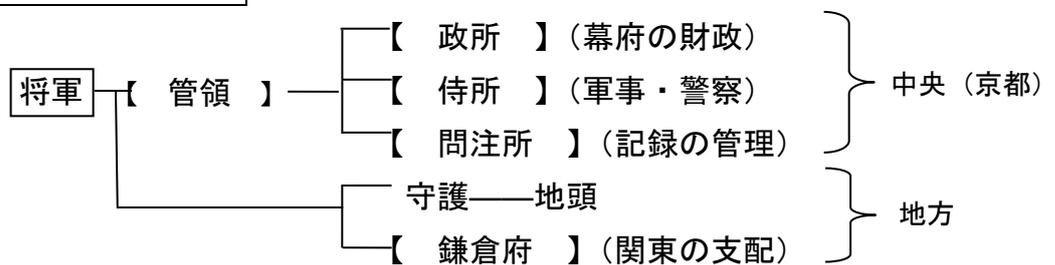
1338年

足利尊氏が【 征夷大將軍 】に任命される…室町幕府の成立

後醍醐天皇は奈良の【 吉野 】に逃れて政治を続行

京都（【 北朝 】）vs 吉野（【 南朝 】）…この後約 60 年間続く

室町幕府のしくみ



有力な【 守護大名 】が重要な職に任命される

室町幕府の全盛期

3代将軍【 足利義満 】

京都の室町に「【 花の御所 】」と呼ばれる豪邸を建て、幕府を移す

1392年

【 南北朝 】の合一

<このころのアジアの動き>

中国：【 元 】が滅び、【 明 】が成立(1368年)

朝鮮：高麗が滅び、(李氏)朝鮮が成立(1392年)…木綿の輸入、ハンゲル

沖縄：【 琉球王国 】の成立(15世紀初期)…【 中継 】貿易

明から日本に【 倭寇 】の取り締まりを要求→明との国交を開く

倭寇…瀬戸内海沿岸から九州・朝鮮半島あたりまでを荒らし回った海賊

1404年

日明貿易(=【 勘合 】貿易)の開始

貿易船と倭寇を区別するための合い札【 勘合 】を使用

明に朝貢…日本が明に貢ぎ物を持っていき、臣下として礼を尽くす形式

貿易港は【 博多 】(福岡)や【 堺 】(大阪)

輸入品…【 明銭 】・陶磁器・絹織物
輸出品…銅・硫黄・刀剣

足利義満の死後、幕府による貿易は中断

→守護大名たちが独自に貿易を行い、力をつけていく

農民の成長

二毛作の発達…始まったのは鎌倉時代

かんがい技術の発達（水車など）、肥料の発達（草木灰→糞尿）



生産量が増える→税をまとめて納めるようになる

特産物…紀伊の【みかん】、宇治の【茶】、甲斐のぶどう、三河の木綿

自治の始まり（南北朝の対立のころから）

【寄合】…有力者を中心にまとまり、村の重要な議題を話し合う

村の^{おきて}掟、山林やかんがい用水の管理、年貢（税）についてなど

^{そう}惣…農村における自治的な組織 惣村…惣によって治められる村

<15世紀のおもな一揆>

1428年

①【正長】の土一揆…【近江】国（滋賀県）の【馬借】たちが中心となり、【徳政令】を求めた一揆。

1485年

②【山城】（の）国一揆…^{やましるのくに}山城国の^{こくじん}国人（農村に住む侍）が農民を率いて守護大名に反抗。守護の畠山氏を追放して8年間の自治を行う。

1488年

③加賀の【一向一揆】…加賀国（【石川】県）で一向宗の信者たちが起こした一揆。守護大名を自害に追い込み、約100年間の自治を行う。一向宗とは【浄土真】宗の別名。

商業の発達

定期市…鎌倉時代の月【3】回→月【6】回へ

取引には大量に輸入された【明】銭が使われる

運送業者…鎌倉時代の【問丸】→^{おろしうり}
卸売業者の【問屋】
運送業者の【馬借】

高利貸…【土倉】・【酒屋】 高い利子を取って金を貸す金融業者

同業者の組合…【座】 平安時代後期からあったが、商業の発達とともに種類が増え

特産工芸品…西陣の絹織物、美濃の【和紙】、瀬戸の陶磁器、輪島の漆器など

都市の発達

港町…日明貿易によって発展 【博多】・【堺】←自治都市

【門前】町…寺社の周辺で発展 長野（【善光】寺）

【城下】町…大名の城の周辺に発展 山口（大内氏）・小田原（北条氏）

室町時代(2)

1467年

【 応仁の乱 】

8代将軍【 足利義政 】の跡継ぎ争い [弟:義視^{よしみ} vs 子:義尚^{よしひさ}]

管領家の跡継ぎ争い

有力な【 守護大名 】同士の争い [細川勝元 vs 山名宗全 (持豊)]

11年間にわたって京都が戦場となる 【 祇園 】祭も中断



- ・身分の低い者が身分の高い者を実力で倒す【 下剋上 】の風潮が広まる
- ・幕府の力がおとろえ、山城国^{やましろうのくに} (京都府) 一国を支配するのみとなる
- ・戦乱を逃れて地方へ下った公家や僧によって、都の文化が地方に伝えられる

戦国時代…応仁の乱以降、全国で戦が絶えない時代が約100年続く

守護大名→【 戦国大名 】の台頭 ※下剋上！

【 分国 】法…各国に独自に作られた法律 (御成敗式目の影響が強い)

【 武田信玄 】 (甲斐) …『信玄家法』

【 上杉謙信 】 (越後)

} 【 川中島 】の戦い

室町時代の文化…禅宗 (とくに【 臨濟 】宗) の影響を強く受ける

(幕府が京都にあったため) 武家と公家の文化がとけあう

【 北山 】文化…3代将軍【 ☆ 足利義満 】のころ

- ・【 金閣 】…【 ☆ 】が京都の北山に建てた別荘→現在は鹿苑寺
- ・【 能 】…観阿弥・【 世阿弥 】父子が大成
- ・【 狂言 】…能の幕間^{まくあい} (合間) に演じられるこっけいな寸劇

【 東山 】文化…8代将軍【 ★ 足利義政 】のころ

- ・【 銀閣 】…【 ★ 】が京都の東山に建てた別荘→現在は慈照寺
- ・【 書院造 】…床の間やふすま、障子など→現在の和風建築のもととなる
- ・【 水墨画 】…【 雪舟 】が大成 墨だけで描く自然の世界

室町時代を通じての文化・習慣

- ・【 連歌 】…和歌の上の句と下の句を交互に詠みあう→後に俳諧のもととなる
- ・『【 御伽草子^{おとぎ} 】』…「一寸法師」や「浦島太郎」などを収録
- ・茶の湯→茶道
- ・生け花→華道
- ・1日3食
- ・畳の上での生活
- ・盆踊り

戦国時代…【 応仁の乱 】の後、戦乱の絶えない時代が約 100 年間続く

1543年

鉄砲伝来 【 ポルトガル 】人が【 種子島 】に漂着
→築城法や戦い方が変わる…一騎打ちから集団戦法へ
【 堺 】(大阪府)や国友(滋賀県)での国内生産も始まる

1549年

キリスト教伝来 スペイン人の【 フランシスコ・ザビエル 】が鹿児島に上陸
【 イエズス 】会の宣教師 世界で布教活動
鹿児島の【 島津 】氏が布教を許可する
→16世紀末には信者数は約 15 万人 キリスト教の信者=【 キリシタン 】

【 南蛮 】貿易…【 スペイン 】・【 ポルトガル 】を相手国とする貿易
拠点は【 平戸 】や【 長崎 】→九州の大名、堺などの商人に利益
 { 輸入品…鉄砲・火薬・生糸
 { 輸出品…銀 【 石見銀山 】などで産出
貿易の利益を得るためにキリスト教を保護したり、自ら信者になる大名も
(=【 キリシタン 】大名)

1582年

天正遣欧使節…九州のキリシタン大名らが4人の少年をローマに派遣